

たまねぎ栽培の省力化に取り組んでいます！

水俣・芦北地域では、温暖な気候を利用して早出したまねぎの栽培が行われています。

J A あしきたサラたまちゃん部会では、除草剤を使用せず、減農薬で栽培される極早生品種のたまねぎを「サラたまちゃん」という商標名で出荷しています。

サラたまちゃんは、水分が多く、甘味があって辛味が少なく、生で食べても美味しいため、サラダ用として好評で、地域の主力作物の一つとなっています。

定植や収穫などの作業は、一つ一つ手作業で行うため、高齢者が多い当地域では、省力化と労力軽減が課題となっています。

そのため、昨年度は県の事業を活用して、たまねぎ搬出のためのリフト付き運搬車を10台導入し、生産者からも喜びの声が聞かれました。

本年度も、施肥とマルチ作業を同時に行うマルチャーを、同じ事業で12台導入し、低コスト（減肥）と省力化の推進に取り組んでいます。

芦北支部では、今後もJ A あしきたサラたまちゃん部会を中心に、環境にも優しく農業者の体にも優しい生産体制の確立をめざし、産地の更なる発展を支援していきます。



リフト付き運搬車



畝立てと施肥、ビニルマルチ被覆作業を同時に行うマルチャー